

地区スローガン：「Love Other Spirit ～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～」

クラブ方針：「豊かな心を持とう! 今こそ『絆』」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 今野 文明 幹事 本橋 和也
 例会場 千葉スカイウインドウズ 東天紅 センシティブタワー23階
 TEL 043-238-5555
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : <https://www.chibawest-rc.net/>

■ 例会延期のため臨時週報会長挨拶 / 今野文明 会長

皆様、改めまして、この厳しいコロナ禍の中、本年度のロータリー活動へのご理解、ご支援を頂き誠にありがとうございます。まん延防止等重点措置が3月21日まで延期されました。また今後の感染状況を、高い警戒感を持って注視していく必要があると考え、3月15日の例会まで取消及びプログラムの延期とさせて頂きました。休会中は、停滞することなく、何かを発信し続けようと考えていましたが、やはりコロナは手強いです。

本来ならば、桜井隆宏委員長率います、クラブ広報・ロータリー情報委員会主催の炉辺会談が上期11月16日及び下期3月15日に年2回開催される予定でしたが、2回共このコロナ禍にて残念ながら例会取消となってしまいました。

千葉西ロータリークラブは、私が入会当時から今現在も炉辺会談と呼んでいます。その他、炉辺会合・座談会・家庭集会・情報集会などと呼んでいるクラブや時代があったようです。しかし、名称が変わっても意味及び目的は全く変わりません。その意味及び目的は、会員間の親睦と情報交換、そしてロータリー活動を推進する為に行われ、囲炉裏を囲い小人数で対話をし、その対話の中から何かを学ぶのが炉辺会談です。

私が入会当時に諸先輩から教わった炉辺会談は「例会終了後、例会とは別に」夜に場所を変え、お酒を酌み交わし「テーマを決めず」入会のまだ浅い会員の方は、ロータリーについて分からないことを、その席で質問し特にロータリー歴の長い先輩が、質問に対して分かる範囲で回答をする。そして、ロータリー以外のことも、各会員の職業を通じて、色々な相談が出来るオープンな会合だと教わりました。

最近では、例会の中でテーマを決めて開催することが多くなっている様ですが、この基本からはずれないように努力はしていると思います。

今回のこの炉辺会談でより一層「絆」を深めることが目的でしたが残念です。会員の皆様に於かれましては、くれぐれもご自愛して頂き元気な姿で、3月29日の例会で元気にお会い出来ることを心より期待しています。



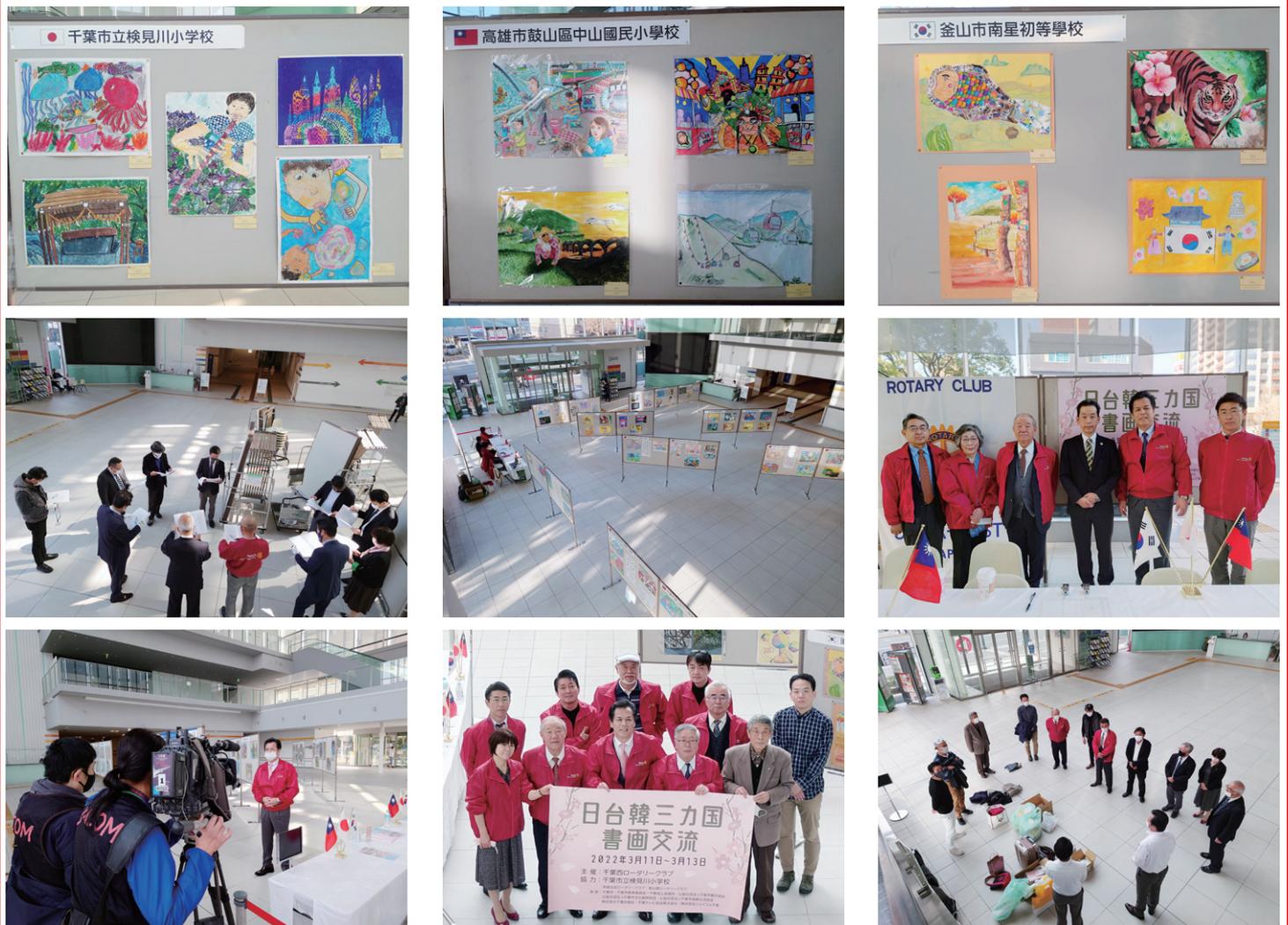
■ 改めて、真の親睦活動と炉辺会談を考察してみましょう! クラブ広報ロータリー情報委員会

日頃、私たちロータリアンが心がけているロータリーライフの本質とは、信頼し合う仲間と共に、一人一人が様々な奉仕の機会を求めて自ら学び実践することにあります。その為にもお互いに仲間との絆を深めあい、こころを許し合う親睦活動を重要視しています。常に公平と平等を旨とする良き仲間として理解を認め合うことが大切であり、とても大事になっていることを知り、我々ロータリアンは真面目に受け止める心構えが必要になります。このことを身に付ける為には、会員一人一人がロータリー精神を学び、知る必要があります。入会歴によって違う経験を何度も何度も積み増す中から、真のロータリーの理念や組織の理解を深めていくことが互いに肝心なこととなっています。様々な職業に携わる会員が和気藹々と気兼ねなく楽しみ、親友が集うロータリークラブの交流は意義深く、互いに研鑽し合う大きな価値があることは何時の時代でも価値が同じであり、ロータリアン自身が深く納得し受け止める必要があります。親睦と奉仕の精神を大切に基本となる奉仕理念は、クラブや地区や国を問わず変わらない価値観となり、会員一人一人の自信と誇りにも繋がっています。その自信や誇りを変わりなくいつまでも高く保持するためには、会員一人一人が豊かな個性を生かしながら、互いが切磋琢磨する謙虚な修学の心構えが必要になります。その結果として、相手を思いやる公平さと平等な考え方が身につく、新しい対等な価値観を見出すことができます。ロータリー活動の環境構築が各人の人間形成にも反映されていることは大きな価値があり、「入りて学び出でて奉仕せよ」という指標として、明白な活動の方向性や指針として古くから親しまれてきました。然しながら、日々実業に携わる多忙な職業人としてのロータリアンは、とかく損得勘定が優先してしまう傾向が強くなることも現実になっています。会員一人一人は事業主としての個性が豊かにあって、自我が非常に強い傾向があることを自覚し、我々会員は改めて再認識する必要があるのでしょうか。ロータリーの指針である奉仕の理想とは、他を思い遣り他の為になる利他の精神を身に付け、クラブで学んだ「奉仕の理想」の精神は各会員の事業に反映させ、利他の心を持って職業奉仕理念を果たす役目を担っていることを自覚したいものです。そうした例会と奉仕活動の学びの体験を、もっともっと愉しく気軽に語り合う機会が求められています。その理想を実現する為にも、時々企画し開催する「炉辺会談」が対等に語り合う学びの場として継承されてきたものと思われまふ。ロータリー創立117年目を迎える現在でも、綿々とその炉辺会談の活動が行われていることは、如何に親睦の大切さや、人としての成長する学びの場が必須になっていることが証明されています。世界中の国情や地域性が違っていても、仲間同士が気軽に集まって、切磋琢磨し合う姿勢が共有されることは、とても素晴らしいプログラムであると誇りたいと思います。このクラブ開催の「炉辺会談」は「Fire-side meeting」としてアメリカで誕生し、当初は会員同士の家庭集会としてこじんまりと少人数で開催することが柱となっていました。会員宅の居間で、暖炉を囲んでの憩いの場であったプログラム形成が基本にあります。飲食を楽しみながら和気藹々とした気軽な語り合いの場からは、

例会では知りえない得難い交流が広まったと推察できます。各クラブに於いても炉辺会談を有効に活用して、年度年度のプログラム構成を工夫したり、ロータリアン自身の価値や意欲を高めてきました。会員同士全てが一堂に会して、密接に語り合う機会は限られている現状の中で、年齢差や会員歴のキャリアを超越させた情報交流は、新しい気付きの新鮮な体験となり励みにもなっています。我が千葉西ロータリークラブでは、担当する責任委員会として「クラブ広報ロータリー情報委員会」が企画運営を担っていますが、その根幹にあるものは会員同士の友愛の向上と、修学を心掛け親睦を深め合うことが開催趣旨となっています。「入りて学び出でて奉仕せよ」の指標を理解することの実践こそが、まさしく炉辺会談の真の意義であり、会員が誇り合える環境の構築を理想としています。他から学ぶことの有意義さと、相違する他の意見を素直に受け入れる器量や度量の大きさを認識することも有益なことです。その人が持つ人間性の大きさと豊かさとして身につける有益な真実を、一人一人の会員が上手く活用させて欲しいものです。まさしく、この心がけは「ロータリーの目的」にも細かく明快に書かれていますので、時々目に通したいものです。現状の課題としては、同じ目標をもつクラブ仲間であっても、なかなかロータリーの基本的な理念や決まり事を理解しない傾向がみられます。毎月発行される「ロータリーの友」誌の情報を話題に対話したり、「My Rotary」に登録して情報を豊かに知る機会が少ないことが懸念されます。さらには、会員仲間の人となり知らないことの意外性に驚かされます。会員間の詳細な情報を知りたいとの要望は、意外にも昔から変わらぬ話題の一つになっています。信頼感を高めるために、名刺に書かれた肩書を捨て、お互いに胸襟を開き素顔になって語り合う有意義さからは、真の友情とその人の価値を知ることが多くあることは、誰でもが認めることです。然しながらクラブ例会場ではなかなか本心を曝け出す交流に限られ、親睦会や趣味の会を通じた交流では、限られた会員同士のみの親睦だけとなっていることは寂しい思いがあります。会員同士がより一層知りあうこと、より一層親密になること、その為にも会員が気軽に会して対話をするのが大切なことです。互いに教え、教えられる有意義な機会になっているクラブ炉辺会談に、参加することの意義は大きいです。相互に忌憚ない語り合いをして頂き、切磋琢磨する環境下で年齢差や会員歴を忘れた自由な対話からは、意外な習得が期待できます。何時の時代もロータリー理念やクラブ運営や会員交流に関して、もっと知りたい期待感をもっていても、現実には難しく、同じ不満を耳にすることが残念であり、とても不思議な現実でもあります。繰り返しになりますが、できるだけ多くの会員が気軽に接することに腐心し、思いがけない情報や思いがけない知見のヒントを得ることの喜びを享受したいものです。日頃、事業主として我儘な言動がありがちな職業人としてのロータリアンは、時には素直な思考をもちよって、謙虚を心掛けて、ロータリアンとしての資質向上と仲間との交流を深めあい、得られた学びやヒントを得難いものにしたと念じてしまいます。さらには、必然的にロータリー活動に於いては、自らが修学する意欲を高めて得た情報や利徳をもって、自らの生業に活かすことが、ロータリーからの贈りものとして受け止めましょう。私たち千葉西ロータリークラブは創立以来 47 年間に経過していますが、年度年度の一年間それぞれの先輩たちが築いてこられた会員間の親睦の輪は強い絆として継承され、今も昔も変わらない大切なクラブの伝統でありクラブ組織維持の要になってきました。会員同士が喜びも苦しみも共有し、交流を深め絆も強める為に創意工夫し、年々努力が重ねられてきた歴代皆様の尽力があったことは、実に頼もしくありがたい遺産になっています。特に意義深く思うことは、クラブの毎年度「親睦活動委員会」の皆さんが委員会の親睦タスキを肩に掛けて、一致団結して奉仕活動できる意味合いも、時々クラブの先達に感謝することが大切な心構えになります。一人一人が、企業人や職業人の代表である肩書を外した一個人としてロータリーに参加して、お互いの人間性を磨き合ってきたのです。今後も変わりなく、他を知ることは、とって貴重な体験になることを再認識したいものです。今こそ自らもつ役職等の肩書を捨て去り、新たに素の人間同士が親睦を深める意味合いを考えてみましょう。きっと真の親睦の意義やロータリー活動の価値を知る早道が見つかると思います。仲間同士が仲良くなって、相互扶助の事業による利得だけを求め合う短絡さだけを目指すことは改める必要があります。クラブの職業分類に選ばれた代表者として、世の為に善行を広めるリーダーの心意気を身に付ける同志として、実業人としての御手本を強く正しく意識し実践させることこそ、相互扶助の協業に結びつく理想のカギになります。その為にも、今改めてそのクラブ委員会活動の責任の大きさや参加して奉仕活動する重要さを強く感じとりたいものです。会員だれでもが一度は親睦活動委員会に属して活動する我がクラブの慣習として、それなりに重い意味合いがあることを再認識したいと思います。クラブ創立以来、全ての会員が親睦活動委員会の体験を通して得られる、他を思いやる利他の精神は会員間の親睦を深める活動の要になっています。クラブの決まり事として、また会員の役目として、定例のクラブ例会に参加し親睦を深め合うこと、多様な委員会活動が継承されていること、及び、真の親睦の貴重さを再認識し、今後も一層大切に必要性を感じてしまいます。各クラブによって例会の開催状況は違いますが、限られた定例の例会時間内では会員同士が本心を曝け出すことができない現状もあることも現実として受け止め、こうした改善策をじっくりと語りあいたいものです。だからこそ毎例会は大事に出席する価値と義務があり、一致団結したクラブ内の奉仕活動に感動し、体験と修得の場を大切に保全しているのです。ですから奉仕活動を企画運営する各委員会活動として、委員会仲間が触れ合う機会やその時間が本当に貴重になります。更には同じ趣味を通じた親睦の交流会が盛んに行われることが、より友愛を深めあう絶好の機会になってきましたし、クラブの活性や継承に大きな役割を果たすことができている。五大奉仕に分かれている活動の意義も、様々な発想と企画運営が多様に学べるのが主眼になっています。残念ながらコロナ感染拡大による「まん延防止対策措置」によって、今月の 15 日に企画した炉辺会談が中止となりましたが、その開催意義を改めて理解していただき、今後の開催時にこそ、価値あるプログラム構成を皆さんと構築させたいものです。理想的には、日常から事業の損得勘定でなく、人柄を重視する善行の向上を語りあい、ロータリーらしい友愛の交流が深まることこそ、奉仕の理想の実現に結びつくことを、会員各位がよく理解すべきだと思います。常日頃から、全員が胸襟を開いて気軽に語り合うことを、改めて自覚してみたいものです。その為にも、日々のロータリー活動が「炉辺会談」であるとして受け止めて頂き、ロータリアンの心掛けを真摯に学びあい、親睦の絆を深め奉仕の理想を理解しあってみたいものです。入会歴や年齢や事業種の違いを乗り越えた友愛を深めて、お互いが鼓舞し合える仲間としてクラブ運営を価値ある委員会活動に反映させ、誠心誠意、他を思いやる利他のロータリー精神を开花させましょう。人は十人十色、百人百様の豊かな個性を評価しつつ、利他の心意気を豊かに持って、「超我の奉仕」を理解して「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」ことを信じて、ロータリーの贈り物を得る恩恵を、信頼し合う会員皆さんと一緒に享受したいと思います！

参考資料=web 各クラブ掲載記事

日本♥台湾♥韓国 書画交流展示会 in Qiball



米山奨学生終了式 in 三井ガーデンホテル千葉



ニコニコBOX
・なし

千葉西ロータリークラブ	総数	出席	欠席	前々回の修正	メンバー	本日の出席率	前々回の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	48名	0名	0名	0名	0名	0%	0%		0円	次週プログラム 3月22日(火) 祝日週により休会(21日春分の日) 3月29日(火) 例会再開予定 ◎新入会員卓話 武田逸朗 会員 川崎美嘉子 会員 12:30点鐘 千葉スカイビュウズ 東天紅
対象者									本年度累計	
	48名	0名	0名	0名	0名	0%	0%		695,000円	

クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】桜井隆宏 【副委員長】海賢勲一 *高橋健一郎 【委員】嶋田 悠 *野城隆憲 *北村悠介 *中村武弘 *川崎美嘉子